

## 参考資料

### “Chartered Quantity Surveyor” と “R I C S” について

「Chartered Quantity Surveyor（チャータード・クオンティティ・サベイヤー）」は「Quantity Surveyor」あるいは略称で「Q S」と呼ばれています。（以下「Q S」といいます）英国および英国の影響下にある（あった）海外の国々では、建設プロジェクトにおいて発注者の利益を守る独立した専門職能としてQ Sが活躍しています。工事費積算を主要な業務としていた時代を経て、現在ではコストマネジメント、スケジュール管理、リスク管理、発注調達・契約管理、支払管理といった、建設プロジェクトにおける経済面全般の管理について職域を広げています。プロジェクト全体を統括するマネジャーとして活躍することもみられるようです。

旧来は、Q Sを「積算士」と和訳した時期もありましたが、積算業務から大きく職域を拡大した現在では全く不適切な訳となり、「Q S」あるいは「クオンティティ・サベイヤー」と原文通りに呼ぶことがふさわしくなりました。技術・知識レベルおよび現在の業務領域は、（公社）日本建築積算協会認定の「**建築コスト管理士(Qualified Building Cost manager)**」とほとんど重なっています。

わが国の建築コスト管理士が様々な職域で、様々な立場（発注・コンサルタント・設計・施工等）で業務を遂行しているのに比べると、Q Sが独立した専門職能として発注者側にたっていることが、日英の大きな相違点となっています。現在では、施工者側で業務を行うQ Sも存在していますので、必ずしも発注者の代行者と限ってはいないようですが、どちら側であるとしても独立職能としての地位を保っています。

英国の影響が少ないヨーロッパ各国および米国においては、Q Sとは異なった職能やコストマネジメントの仕組みもあり、必ずしも世界の全域をカバーしてはいないものの、英国の影響が残っている国が多いことから、Q Sの存在は実質的なグローバルスタンダードとして考える必要があります。

R I C Sは、産業革命後の英国近代化に貢献した約50名のSurveyorによって、1868年6月にロンドンで「The Institution of Surveyors」として設立されました。その後1881年8月に英国王から「Royal Charter（王立機関）」として認められることとなり、会員は「Chartered Surveyor」と称することになりました。

職業としての「Surveyor」は古代エジプトの時代から存在し、計測・計量・測量の技術

者として、古代より各文明が大地を高度に利用し発展することを支えてきたといわれています。近代になり、英国では土地やそれに付随する建物・建造物・鉱物資源およびそれらの権利利益などに関わる技術者を指すようになりました。

1947年7月に、協会名称が現在の「Royal Institution of Chartered Surveyors (RICS)」となりました。

**RICS**本部は英国ロンドンにありますが、欧州、中東・アフリカ、東アジア・東南アジア、オセアニア、南アジア、北中・南米・カリブ海といった世界各地の146か国に活動を広げています。世界各地では正会員が約10万名活躍しており、学生やトレイニー約5万名が正会員を目指して勉強中です。**RICS**会員は、国際的な認知度とステータスが高く、仕事での高い優位性を持っています。また、専門知識・情報の提供（CPDを含む）や厳しい倫理基準によって、会員の高度な専門性を確保しています。

**RICS**の資格（称号）とは、我が国のように試験を合格して得られるものではなく、入会したことにより与えられるステータスです。**RICS**の正会員としては専門分野で働くものに与えられる「**MRICS** (Professional Members)」と、業界の発展に卓越した貢献をしたものに与えられる「**FRICS** (Fellows)」があります。そのほかに、エントリーレベルの「**Assoc RICS** (Associate Members)」があります。**MRICS**は、**RICS**が認定した大学のコースで学位を取得し、1～2年の実務研修後、レポート・面接・テストを受けるコースが一般的といわれ、非常に狭き門となっています。

**RICS**には3つのジャンルと17の専門グループがあり、「骨董品・美術品」、「建物調査」、「建築技術」、「事業用不動産」、「紛争解決」、「環境」、「ファシリティ・マネジメント」、「マネジメント・コンサルティング」、「ジオマティックス」、「鉱物資源・廃棄物管理」、「計画開発」、「機械・業務用資産」、「プロジェクト・マネジメント」、「居住用不動産」、「農地等」、「評価」と多岐にわたっています。そのなかで、「**Quantity Surveying & Construction Professional Group**」に所属した会員（**MRICS**か**FRICS**）が「**Chartered Quantity Surveyor**」の称号で呼ばれるわけです。

（公社）日本建築積算協会認定の「**建築コスト管理士**」で一定の要件を満たした者は、**MRICS**として**RICS**に入会し、「**Chartered Quantity Surveyor**」の称号を得ることができます。我が国において**RICS**への入会資格を持っている団体（団体認定資格）には、（公社）不動産鑑定士協会連合会はじめ数団体がありますが、コストマネジメント（**QS**）の分野に関しては（公社）日本建築積算協会のみです。

（公益社団法人 日本建築積算協会 資料より）